

クランクベイトの自作 - テスト釣行の結果 -

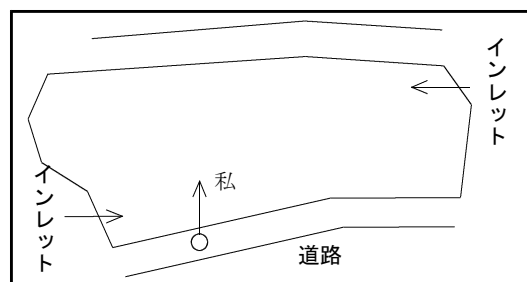
1 はじめに

試作品がとりあえず完成しましたので、2020年6月2日(火)にサンクチュアリへテスト釣行に出かけました。本来は第2ポンドに入りたかったのですが、5月下旬から第2ポンドは閉鎖され、代わって第3ポンドがオープンします。現在は第1ポンドと第3ポンドが使用可能となっています。第3ポンドは水質が透明でマスの反応がよく分かるので、第3ポンドに入りました。

つり上げたのはニジマスで、釣果総数18尾のうち12尾が自作クランクでの釣果でした。その時の様子を掲載します。

2 釣行の様子

- 天気は晴れ。風はほとんどなし。水は透明。
- 火曜日は放流も餌撒きもなし。
- 駐車場に近いところ、道路側に入った。



12時20分～2時20分(放流前まで)

7尾

- ライズはない。表層にマスが見られるが余り動いていない。足下にマスが集まっている。
- とりあえず、あらかじめ竿に付けてあったスプーンで数投した。まったく反応がない。
- 自作ルアーを試した。結構、反応がある。しかし、口を使うが釣掛かりしない。
- 表層では反応がない。ボトムバンプやズル引きにも反応しない。宙層やボトムトレースに反応している。

<魚の反応を見ながら、…>

- ルアーを投げてゆっくり巻いてくる。するとマスが後からついてくる。マスがルアーとの距離を縮めてきたら、巻きスピードを上げる。すると、さらに距離が縮まったり、口を使ったりする。
- マスが見切って離れてしまうときは、巻きスピードを落とす。しばらく巻いていると他のマスが近づいてくる。ルアーにマスが興味を示さないようならフリップを入れてアピールする。
- 足下にはマスが貯まっているので、ルアーが足下まで来たら、そのまま沈める。魚が反応して、近づいてきたり、口を使ったりする。
- これで掛からなければ、投げ直す。
- 以前に空合わせしたら、それが誘いとなり、釣れたことがあったので試してみた。一度だけヒット(&ゲット)した。

- 足下の魚の様子を見ていると、ルアーの頭の方や横からアタックしてくるものが多い。特に頭の方へのアタックが多かった。魚にとっては、餌となる魚は頭の方から食べた方が捕食率が高まるからだろう。
- ルアーの後から半分くらいまで口に入れて吐き出すということもあった。
- 釣は新品であるから、釣先がなままっているとか、曲がっているとかいったことはない。
- フックサイズが#8であったので、#6に替えてみた。大きな変化はなかった。
- 結局、7尾釣った。

・ヒットルアー 自作ルアー 黄緑・桃色 2尾 濃茶色 1尾 薄茶色 4尾

2時20分～4時10分(放流の時間帯から餌撒きの時間帯まで)

3尾

- 今日は放流なし。魚の活性は更に下がっていく。
- 自作ルアーでは魚の反応がなくなってしまったので、ちびパニクラDR-SSショボクレおこし(グロー)を投げてみた。ヒット(&ゲット)した。しかし、続かない。
- もう一度、自作ルアーを試した。なんとか、ヒット(&ゲット)した。

・自作ルアー 黄緑・桃色 1尾 薄茶色 1尾

○さっぱりダメだ。

4時10分～5時10分 (餌撒きの時間帯～終了)

8尾

○今日は餌撒きなし。

○夕方に近づき、活性が上がってくるはず。しかし、釣れない。

○スプーンを試した。やっと釣れた。

・ジギルjr 0.7g 灰色に茶色散らし

○休憩しながら釣ることにした。対岸が空いていたので移動した。ここは日陰になっている。ベンチに座りながら釣った。

○自作ルアーは第2ポンドで釣ることを目的としている。第2ポンドは水が濁っているの、魚の動きはほとんど見られない。このルアーの釣り方は次のように考えている。

＜自作ルアーの釣り方＞

○ラインとロッドはほぼ一直線にする。または、ロッドをラインに対して左(右)に少し角度を付ける。

○シンキングになっているので、カウントして目的の泳層まで沈める。

○リトリーブ・スピードは超ゆっくり。

○「ゆっくり、ゆっくり」と唱えながら巻く。「ゆっくり、ゆっくり」でリール1回転となる速さである。

○当たりがあったら、腕を後に引きながら、巻き合わせをする。

○この釣り方で釣った。カメラを持って行かなかったので写真は撮れなかった。3尾ゲットした。

・自作ルアー 黄緑・桃色 3尾

○魚が表層で動き出した。トップウォーターを試すことにした。

○キャルフロート クリア で1尾ゲットした。しかし、続かない。

○水しぶきでマスは反応するが、浮いているものには見向きもしない。

○自作クランク シンキングの薄茶色で試してみれば良かった。

○サーフェスエアブローF カモフラペレットオールスターズを選んだ。トイッチと巻きで3尾釣った。

○5時10分終了のアナウンス

3 ヒットルアー

・自作クランク シンキング 黄緑・桃色 6尾

・自作クランク シンキング 薄茶色 5尾

・自作クランク シンキング 濃茶色 1尾

・サーフェスエアブローF カモフラペレットオールスターズ 3尾 トップで トイッチと巻き

・キャルフロート クリア 1尾 トップで

・ちびパニクラDR-SSショボクレおこし(グロー) 1尾

・ジギルjr 0.7g 灰色に茶色散らし 1尾

4 自作クランクのテスト釣行から

○自作クランクには、シンキングに作ってあるが、沈下速度が2種類ある。

○沈下速度の遅い方は宙層用と考えていた。反応はよかった。ゆっくり巻いていくと沈んでいった。

○ちょうど良い沈み具合である。

○沈下速度の速い方はボトム用と考えていたが、ボトム用としては沈下速度が遅く反応が悪かった。

○沈下速度の遅い方はゆっくり巻くとお尻を振って泳ぐ。早巻きするとバランスがくずれる。

・自作クランク	シンキング	黄緑・桃色	6尾	沈下速度が遅い
・自作クランク	シンキング	薄茶色	5尾	沈下速度が遅い
・自作クランク	シンキング	濃茶色	1尾	沈下速度が速い



- リップはなくてもよい。このままの形状でよい。
- 色は、ミドピイーノより黄緑・桃色の方が反応がよかった。水が濁っている場合(第2ポンドの場合)は、どうだろうか。
- 自作クランクの色は、黄緑・桃色と薄茶色は決定である。
- これに加えて、蛍光の緑・ピンク、桃色、オレンジを試してみたい。濃茶色、濃緑色はさし色として残しておく。
- ベリーフックが付けられるように検討・研究する。
 - フックを2つ付けたとき、一方がマスに掛かり他方がネットに掛かってマスが暴れると、ルアーに負担がかかる。自作ルアーは軽量粘土で作ってあるので壊れる心配がある。従って、ベリーフックは付けない。
- フックサイズは#6がよい。
- フックは初期掛かりのよいクラッチフックにするか、一般的なフックにするかは検討の余地がある。
 - 誰でも扱いやすい一般的なフックにする。

5 自作クランクのテスト釣行を終えて

- 自作クランクの形は現状のままでもいい。リップなし。ベリーフックなし。
- フックは「SP-21zero」を使用する。フックサイズ #6
- 色は、
 - 釣るための色として : 黄緑・桃色、薄茶色
 - さし色として : 濃茶色、濃緑色
 - これからの検討 : 蛍光の緑・ピンク、桃色、オレンジ
- 釣り方

＜自作ルアーの釣り方＞

- ラインとロッドはほぼ一直線にする。
 - または、ロッドをラインに対して左(右)に少し角度を付ける。
- シンキングになっているので、カウントして目的の泳層まで沈める。
- リトリーブ・スピードは超ゆっくり。
 - 「ゆっくり、ゆっくり」と唱えながら巻く。「ゆっくり、ゆっくり」でリール1回転となる速さである。
- 当たりがあったら、合わせを入れる。
 - 合わせは、腕を後に引く。
 - 可能なら、腕を後ろに引きながら、巻き合わせをする(リールを巻く)。
- 当たりがないときは、空合わせをする。(腕を後ろに引く) これが誘いとなる。

6 終わりに

つり上げたのはニジマスで、釣果総数18尾のうち12尾が自作クランクでの釣果でした。期待以上の釣果だと思っています。とりあえず試作品は完成です。あとは、色の調整だけです。